

2018年1月29日

## CDP から“サプライヤー企業”の気候変動対応に対する最高評価 「The Supplier Climate A List 2018」に認定

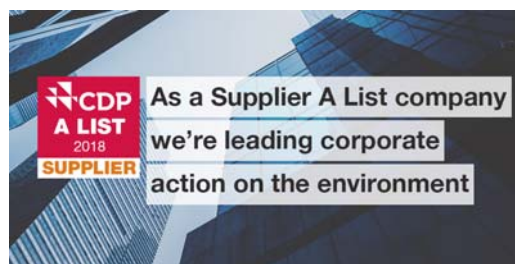
ナブテスコ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：寺本克弘）は、持続可能な経済を実現させる国際非営利団体（NGO）であるCDPにより、昨年に続いて最高評価の「サプライヤー気候変動Aリスト」企業として認定されました。同リストは、「CDPサプライチェーンプログラム」において気候変動に対応するための行動と戦略のグローバルリーダーであると評価されたサプライヤー企業群が認定されるものです。

CDPは、2017年の「CDPサプライチェーンプログラム」において、総購買額3兆米ドルに達するグローバル企業99社の委託により、サプライヤー企業4,800社以上の気候変動緩和、水資源管理、森林管理に関する取り組み情報を収集し、評価を行いました。この内、特に優秀であるとされた100社（全体の2%）が「サプライヤーAリスト」企業として認定されました。

ナブテスコは、2016年12月に、「パリ協定」の呼び掛けに応え、2030年と2050年までの温室効果ガス長期削減目標を策定しました。この目標は、「パリ協定」の「2℃目標」達成に必要な脱炭素化のレベルと整合していることが認められ、国際的イニシアチブである「Science Based Targets (SBT) イニシアチブ」より承認されていることなどが評価されたものと考えます。

当社は、CSR基本方針に則り、「ナブテスコ ウェイ」の実践を通じて、「経営の透明性の確保」と「安全・安心・快適の提供」に取り組み、企業としての社会的な責任を果たしてまいります。今後も、環境・社会の諸課題の解決に体系的に取り組み、SDGsの達成に貢献するとともに、持続的な企業価値の向上を追求してまいります。

以上



（参考）2018年度の「サプライヤーAリスト」企業一覧は下記 URL よりご確認ください。  
<https://www.cdp.net/en/research/global-reports/global-supply-chain-report-2018>